

■期 日：7月27日（木）

■場 所：布津世紀の泉

■参加者：37人

1. 交通・防犯（防犯灯）

【意見】

防犯灯を申請したが却下された。布津町では今年度4灯しかできていない。旧町時代は100%完成していた。予算の組み方はどうなっているのか。市になって2灯までしか申請できないとなっている。自治会長からの要望は100%実現するようにしてほしい。

【回答】

防犯灯の設置補助金は、市で毎年200万円の予算を組んで対応しています。市民の皆さんの要望に早期に答えることが市の大きな仕事であると考えています。

設置希望の場所には、早期に設置しなければいけないと思っています。補正予算を組んで早期に対応するように指示をしています。

2. 福祉関係（子育て支援）

【意見】

深江町では、学童を希望しても受け入れが難しいということを知った。学校の空き教室や学童の代わりになるような受け皿をお願いしたい。

【回答】

現在、放課後児童クラブということで、各保育所等に受け入れ増加の要望が多くあがってきています。しかしながら、各保育所等で定数を決められているので、市から受入れ数を増加してくださいということが難しい状況です。空き教室を活用することも良い案ですが、そこまで運営ができる状況ではありません。何かいい方策がないか検討していきます。

【回答】

何か方法がないか、今後考えていきます。

3. 農業

【意見】

深江町で農業基盤整備をしていただいて立派な農地ができたが、一部では草木などで荒れているところ

ろがある。市が働きかけて、耕作放棄地の耕作をお願いしたり貸したりはできないのか。

【回答】

国の制度に農地中間管理機構というのがあり、農地を預かって営農の拡充をしたいという人に貸し出しています。市にも専任職員が2人おり、毎日、耕作されていない農地を探し、地主を探して訪ねて制度の説明をしています。農業委員の方々と一緒になって耕作放棄地の解消に努めてまいります。

4. 学校教育

【意見】

広域農道から外港に行く所と、外港のターミナル内に世界遺産の看板があつて古かったが、新しく綺麗に張り替えてあつたので感謝したい。また、北有馬給食センターの時計も修理されていた件と、戸別受信機の設置についても感謝したい。

小・中学校の防犯カメラの設置状況はどうなっているのか。

【回答】

西有家中学校に1カ所設置しています。

【意見】

父兄の方が、子どもを通学させるのを心配されていた。子どもが安心して通学できるような対策を。また、親も安心して学校に通わせることができるような体制を。

【回答】

防犯カメラの設置には費用もかかるので、それまでは教職員による登校時における巡視を強化したい。子どもたちが安心・安全で学べる環境を維持していきたいと考えています。

5. 道路整備

【意見】

貝崎浜第二自治会にお店があり、店の前の側溝のふたが壊れている。その地主は市に言うと言われていたので、後日、どうなったのか聞いたら私有地であるため市では修理不可とのことであった。側溝のふたは道路に面しているので危険である。おそらく旧町時代に施工するとき行政の方でふたもかぶせたのだと思う。自然に壊れているのではなく、車等が乗って壊れたのだと思う。そうであれば私有地ではあるが、道路に面したところということで、市で対応をしてほしい。

【回答】

何らかの対応ができそうであるかとは思いますが、現地を確認後、報告します。

6. 水路

【意見】

平之坂・天ヶ瀬の水路の整備について昨年お願いをしていたところ、いち早く本年度の予算に計上していただいたということで、感謝します。自治会、関係者一同、大変喜んでいますが、1年でも早く完成していただけるようお願いをしたい。

【回答】

水路は広域農道を中心として上下に約600m、全延長約1300mの水路で長期間の整備になると思います。11月頃の測量設計が終わってからの着工となりますが、海でわかめの養殖をされている関係で、なかなか工期が限られていますので、工事ができる期間を漁協と協議する必要があります。

完成は早くて31年度を考えています。もしかすると32年度になるかもしれません。なるべく早く完成するよう考えていますので、ご協力をお願いします。

【回答】

コンクリートあくの流れ込みの関係もあります。わかめの養殖時期にあくが流れてはいけなくて、工期が限られることから、漁協との協議が必要になります。

7. 防災行政無線（ラジオ）

【意見】

福岡県朝倉市のように最近は大きな災害が多いので、防災ラジオの設置はありがたい。しかし、以前は2回繰り返して放送されていたが、現在は1回のみである。2回放送することでうるさいと言われるところもあり、長々とは流せないとのことを聞いたが、災害が多いので避難の放送などは繰り返してもいいのではないか。

また、防災ラジオは1世帯に1個ということであるが、私の場合、敷地内に息子夫婦の2世帯目がある。そういう場合、もう1個借りることができるのか、それとも別に購入しないといけないのか。

防災ラジオ設置業者からは、防災ラジオを要らないという世帯もあると聞いた。余っているのではないかと思ひ、市に聞いたところ現段階では余分は把握していないので、しばらく待ってくださいとのことであった。しかしその後、何の返事も無い。

【回答】

防災ラジオの配布終了後からは繰り返し放送はやっていません。繰り返し放送が耳障りという苦情があるのは事実です。その反面、1回では聞き取れないとの声もあります。繰り返し放送を行うかどうかは、今後考えたいと思います。例えば、放送冒頭に「気象情報のお知らせです」というように関心をもってもらえるような工夫をするか、または2回繰り返すということも視野に入れて考えたいと思います。電話をかければ防災放送を聞き直せる方法もあります。

次に、担当がしばらくお待ちくださいと言って連絡がないのはこちらの非ですので、お詫びいたします。防災ラジオは1世帯1個としています。世帯分離をしていれば別々に設置していただいて結構だと

思います。中には家と店舗の2カ所に必要であるという人もいらっしゃいましたが、その場合は有償でご購入いただくこととなります。1個13,500円で購入ができます。その際は、総務課防災交通班にご連絡ください。また、なかなか周知できていない部分がありますのでお詫びいたします。

これまでに、6月号広報紙の時と7月号広報紙の時の2回チラシを出しました。8月の中旬に「よくある質問」という形で、もう一度チラシを配布いたします。それでも使い方が分からない場合は、総務課の防災交通班までご連絡をいただければ対応をいたします。せっかく防災ラジオが導入されましたので、活用をお願いいたします。

8. 納税

【意見】

自治会長と納税組合長を兼務しているが、税金を払わない人は決まっている。払わずにそのまま放置してあるということであれば、私たちも払わなくていいのではないかという考えも出てこなくもない。

【回答】

中には税を納めるのが難しい方もいらっしゃいます。そういう場合は、税務課税制徴収班を中心に随時、納税相談を行っています。それでも諸事情により納税が困難な方もいらっしゃいます。納税組合長さんにはご迷惑をおかけしておりますが、そのような方がいらっしゃれば、税務課の方で接触を図り納税相談を実施して対応してまいります。

9. 健康福祉まつり

【意見】

ボランティア関係団体ということで健康福祉まつりの会議があり、そこで出た話によると、以前は健康福祉まつりを有家町でやっていたが、今度は産業まつり、みそ五郎まつりなどで、行けるところに行ってくださいとのことであった。今までは屋内だったが、屋外となると要約筆記のような機材を使うブースの場合、天候が心配。また、参加者が高齢者の場合は転倒の心配もある。健康福祉の面から考えると1カ所に集まって実施した方がいいのではないか。もし分散して実施すると、ここはこの団体が来て、この団体は来なかったとなることも考えられる。例えば今年はこの町でやるから、ここにみんな集まって健康について考えましようとした方が良い。

また、参加者の確保のために、学校の送迎バスを活用することはできないのか。そうすれば参加者も増えるのではないかと思うので、可能であればやってほしい。

【回答】

昨年、ペタンクの全国大会があった関係で健康福祉まつりをお休みしました。それまでは、ありえコレジヨホールで開催していましたが、年々参加者が少なくなってきました。

どのようにすれば参加者が増えるか考えたところ、今回は1カ所ではなく各町に出向いて、検診の受診率増加の啓発も併せて、とりあえず1回やってみようということになり、今年はこのような形で開催

することにしました。今後、ご提案いただいたことも考えながら、状況を見て多くの人に参加してもらえるような形をとっていきたいと考えています。

【回答】

スクールバスの活用については、国から児童の登下校のために補助金をもらっているのですが、目的外使用が難しい状況です。また、運転士の確保や安全面の関係で難しいと考えています。

10. 福祉関係

【意見】

先日、ありえコレジヨホールで開催された「がまだす島原半島ささえあいのまちづくりフォーラム」に参加したが、参加者が少なかった。関係団体に案内が出されていたようで一般市民の方がいなかった印象であった。せつかくなら皆さんに広報してほしい。

【回答】

今回お願いした方々は、ある程度関係されている人に募集をかけて参加してもらいました。社会福祉協議会を通して募集をしました。今後は、もっと市民の方で興味のある方に広くお声掛けをして、この事業を早急に進めていかなければならないと考えています。

11. 自治会交付金

【意見】

4月の自治会長会議時に自治会活動交付金の説明があったが、納税率が上がったところも下がったところも交付金の増減が5千円という措置であったかと思う。

自分の自治会も交付決定通知がきたが、基本額と28年度の差額が4万5千円であった。満額もらったことを考えると、4万円が無くなったという状況になった。1自治会で4万円下がるのはかなりの痛手である。というのが、前々年度（H27年度）の納付率が下がったので、昨年度（H28年度）の補助金は少なくなったということもあるかと思う。しかし、昨年は努力して納付率を100%に上げたので、基準額どおりくると期待したが、前年度に比較して5千円までということであるので、いっぺんにももらえると思った金額が4万円少なくなった。結果5千円しか上がらなかった。

せつかく基準額を算定しているので、基準額は基準額でその金額でやっていただけないものか。自治会は行政の一番末端であり、みんな頑張っている。今年はこれで決定だと思うので、この制度は当分の間ということであったが、今年だけの制度か今後も続くのか。そうしないと元の額に戻すには9年かかる。検討してほしい。

【回答】

平成29年度に交付金に変えさせていただきました。それは、今まで納税率の反映の仕方が極端であ

るとの指摘がありましたので、それを緩和しました。金額が減る自治会の分を増える自治会の分で若干まかなっている部分がありますので、すぐに額を元に戻すことは難しいですが、減らすのは若干でも増える自治会については、早急に新しい制度で構築した金額にできるだけ早い段階に近づくように検討を重ねます。

12. 河川

【意見】

深江川は深江断層の一番低い所を流れている。合併前は町で川竹の除去をしていた。現在、中流にたくさん川竹が繁殖している。九州北部豪雨のような大雨が降ったときに大丈夫なのか心配である。現地を見てもらいたい。

【回答】

2級河川の深江川であると思いますが、川の浚渫についてはどこの自治会からも要望があります。2級は県の管理であります。浚渫は県に要望するという形になります。今年も振興局をお願いをして、北有馬の有馬川の現地確認をしてもらいました。深江川も引き続き要望をしていきたいと考えています。改めて市でも現地確認をいたします。

13. 農業（宮中献穀）

【意見】

宮中献穀事業の進捗状況は。米の成育状況や中間報告、完了後のお知らせをしてほしい。

【回答】

市の広報等にもお田植祭をした事などを載せています。宮中献穀奉賛会からのお手紙というような形でお知らせをしなくてはいけないと感じています。今度、8月2日に順調な生育を祈願し、虫が来ないように虫払いなどを行う「青田祭」を開催しますが、行事が終わりましたら周知をしたいと思います。

【回答】

今まで播種祭やお田植祭などの行事を開催し、たくさんの人に見学をしていただきました。今後、青田祭や稲刈りや献穀などがありますが、結果だけではなく途中経過も報告したいと思います。

また、皆さん方から各自治会を通じて約170万円の寄附をいただいています。市外からも寄附をいただいています。これからも皆さん方の気持ちを無にしないよう、ご指摘・アドバイスも踏まえて対応していきたいと思っています。

14. 防災行政無線（タブレット）

【意見】

防災情報提供用タブレット端末（タブレット）をもらった際に、簡単な説明を紙でもらったので、後で詳しいことを通訳の人に聞こうかと思ってそのまま紙をもらった。しかし、タブレット配布の際に詳細な使い方の説明をしてほしかった。

【回答】

タブレットは6月28日から随時配布しています。担当職員が自宅へ伺って説明をしていますが、内容を紙で説明しており、伺った担当職員も専門的に手話等ができないこともあり、十分には伝わっていない可能性があります。その時に、もっと詳しく聞きたいというご要望があれば手話通訳者の同行も必要だったかと思います。ご連絡いただければ再度、説明に伺いたいと思います。

15. 防災行政無線（タブレット）

【意見】

6月に防災ラジオの代わりとして防災情報提供用タブレット端末（タブレット）をもらった。その際、男性2人が自宅に来られたが、商売の人かと思って不審に思った。説明の紙をみると南島原市から来ましたとは書いてあった。タブレットの説明はなく、内容も分らなかったのがタブレットは受け取らなかった。その後、有家庁舎の福祉課に行き、通訳者に話をして担当職員に連絡してもらい、その後、男性に来てもらい福祉課の方とタブレットの説明をしてもらった。その時は通訳者がいたのでよく分かった。

今後、聴覚障害者の家を訪問する際は、通訳者を同行して来てほしい。

また、昨年、消防署でNET119の説明があり、携帯で消防署に連絡する方法を覚えてもらったが、よく内容が分からなかった。もし、私のそばで誰かが倒れた場合、きちんと通報ができるのか不安であるので、すばやく通報ができる方法を教えてほしい。

【回答】

職員が伺った際に、名札や紙の提示があったかとは思いますが、十分伝わってなかったという部分は大変申し訳なかったと思います。

すべてにおいて通訳者を同行させることは厳しいものがあると思いますが、できるだけそのような配慮は、今後もしていきたいと思っています。

また、消防署からNET119の講習をされたとは聞いていますが、講習内容が分からないので、消防署に確認してご連絡いたします。

【回答】

NET119の講習会が9月21日に開催予定であり、そちらに再度参加していただければ詳しく聞けるとお思いますので、よろしく願いいたします。